

平成 31 年度 鶴見区運営方針(素案)概要版にかかる意見一覧

資料 4

NO.	ページ	委員名	ご 意 見
1	全般	山口委員	全般：「実現」という言葉が、現状を全否定されているような感覚になります。 安心の定義が人によって違うのに「実現」と持ってくると、急に現実的でなくなり、かえって無関心になるような気がします。 何か、区民の心をグッとつかむような表現が見つかるの良いな、と思います。
2	3	山田委員	住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくり 新しく鶴見区に来た人にはやや入りにくいのでは？
3	4	久木委員	(減災では) 近年は、国も自治体も従来からの「防ぐ災害」から「資源保護」に大きく転換している。当然ながら訓練の内容についても人命・地域資源救済を含めて見直しているが、区は依然として「防災」ですか？
4	5	久木委員	地域福祉力 地域コーディネーターを配置する事で福祉全般の推進が図れると思うが、活躍する地域での「場」が無く本来の求める姿となっていない。 又、「地活協」本来の活動を促す方向とも一致しない。 素案では、その方向性を鮮明にする事が必要ではないか？
5	5	山口委員	あいまちで、登録料をペイできるほどの依頼があるのか、トラブルはないのか。利用者と活動者の双方からの具体的な疑問に、実際の登録者が答えるような広報も必要かなあとと思います。
6	5	宮本委員	各地域に地域福祉コーディネーター（つなげ隊）を配置、又つなげ隊へのアドバイスやスキルの向上、情報の提供等とありますが1番住民に近く、現場の情報を把握できる地域ネットワーク委員会の委員との連携、情報の共有、スキルの向上等についてどのように考えているのか。
7	6	西口委員	食育に関して、バランスの良い調理の仕方及びカロリー計算の表を調理実習の時に配布。
8	6	内野委員	食育に関する調理実習の土・日開催について

			素案について賛成です。食育は、子どものころから知恵として育んでいくものと思います。ついでには小学生を含む子どもたち調理や栄養知識、食材への興味等、楽しく身につけてもらうことが大切です。親子や子供たちが参加できる企画と推進をお願い致します。
9	6	笹原委員	食育に関する調理実習の土日開催は実施検証しながら継続していくことが大切だと思います。 (単年度だけでなく!!)
10	6	山口委員	広報で、集団がん検診レポート特集をしてはどうでしょうか？ 集団検診は手っ取り早くて良さそうなのですが、どんな感じで実施されているのかが分からず、二の足が出ず…。
11	7	山口委員	乳児育児の母親にありがちな「10分でもいいから、寝たい」という状態に応えられるような支援があつたらいいな、と思います。
12	7	吉江委員	子育て講演会の開催、幼児期の家庭での躾教育の大切さを、物の善悪、して良い事としてはいけない事の指導を小学校へ入るまでに身につける様に講演会で指導を(母親に)
13	7	久木委員	子育てサロン この事業の趣旨が、不鮮明ではないか？ 現在のサロン活動は児童への対応が主となっているが、本来は保護者同士が自主的に互いに交流できる「場」作りを主にすべきである。
14	7	内野委員	児童虐待に対する状況に対応した支援・相談、児童虐待防止・啓発について 児童虐待は、近年特にステップファミリーの増加に伴い増えています。予防として対象を絞り込むことも重要です。ステップファミリーに対するカウンセラーの紹介・面談。当該家族の心が一つになるための支援や相談の推進。専門家(ex 児童虐待防止協会等)やNPO(ex こどもセンターぬつく等)との交流など具体的活動に落とし込んで頂ければと思います。
15	7	柴田委員	子育て支援室に対し、今までどの様な種類の相談がありましたか。
16	7	柴田委員	つるみっ子ルーム 使用された人数 使用された地域は。
17	8	山口委員	別教室等で児童を指導、支援する人への支援もお願いします。
18	8	松原委員	こどもの居場所づくりとして小学生を対象としているが、中高生は対象ではないのでしょうか。塾等に通うことができないこども対象に、自主学習や学習のフォロー受けられるスペースがあるとよいのではないのでしょうか。
19	9	猿渡委員	経営課題③学びを応援するまちづくり

			<p>生涯学習</p> <p>取り組みに対しての、区民の理解や意識が低い様子が散見されます。</p> <p>生涯学習の啓蒙と共に、現在区内に多数存在している取り組み団体が、協働で活動ができるよう、それぞれのニーズや活動のマッチングが取れるようになれば良いと考えています。</p> <p>それぞれの活動やニーズの把握は、簡単ではないと存じますが、インターネットで募集をかけることと併せて、窓口で聞き取りや登録を行うと良いのではないのでしょうか？</p> <p>そこに人が集まり、新たな賑わいの創出や、新しい活動を作り出すことができるようになることを切に願っております。</p>
20	9	山口委員	<p>生涯学習の理解が進んでいない、との件で、「生涯学習」をお題にした標語や川柳を募集してみるとか、どうでしょうか？</p> <p>意識するきっかけになるかも???</p> <p>勘違いしていても、そのまま作品になって勘違いが浮彫になるかも知れません。</p>
21	9	吉江委員	<p>生涯学習での習い事の展示、発表の場を。ただ習うだけでは、はげみならず、続かない。展示、発表の場を増やし学習意欲を区民ギャラリーでの作品の展示発表で知らせるようには</p>
22	9	笹原委員	<p>区民ギャラリーでの作品展示はすばらしいのだが、見てもらえない場所で残念に思います。場所の検討があれば良いのではないのでしょうか</p>
23	9	宮本委員	<p>「家庭教育支援講座」の実施「家庭教育支援出張型事業」とあるが、具体的にどのような事業で、どのような成果を求めているのか。</p>
24	9	岡出委員	<p>生涯学習というネーミング、若い世代に受け入れられているのか不明。私でも年配者が学習されているイメージがあり、タイトル位しか目にしません。</p>
25	9	柴田委員	<p>校下別人権学習会の実施</p> <p>各地域集まりはどの程度お考えになっておられるか目標として</p>
26	10	山口委員	<p>教育支援の充実では、学校への、民間企業が行っている出前授業の紹介や、これまでの鶴見区の取組みを活かして、学校での多文化共生授業のための、様々な国の講師の紹介などに積極的に関わってはどうか？</p>
27	10	吉江委員	<p>教育支援の充実、学校協議会の拡充、地域との意見交換、学校も地域の活動に参加・協力</p>
28	10	久木委員	<p>防災教育支援</p>

			鶴見区でも、PTA や子ども会活動が指導者の不在や会員加入者の減少で危機的な現状がある。子育て世代が特出している鶴見区では学校を核とした新たなネットの構築や既存団体の活動、運営を見直すことも必要ではないか？
29	10	前川委員	<ul style="list-style-type: none"> ・学校カルテの内容は？ またそれが公開されているのか？ ・校長経営戦略予算の作成は学校に任せきりか？
30	10	藤本委員	校長経営戦略予算とあるが具体的な予算の数と取り組むべき内容について開示があるか。
31	11	山口委員	<p>「つるみんピック」名前だけではスポーツイベントのような印象なので、「防災競技会 つるみんピック」などとした方が良いでしょう。</p> <p>※でも、実際に参加される防災リーダーの方の意見を尊重です。</p>
32	11	吉江委員	小・中・高校の学生の防災学習や訓練の開催、指導、災害時には力になる戦力となる様に、校区内の町の様子も見て歩き災害の時の避難路や避難場所を教え災害時に備える様に
33	11	前川委員	<ul style="list-style-type: none"> ・継続した避難所開設訓練 → 実施方法を検討すべきでは？ ・地域の高校生や大学生を巻き込む防災学習会は大賛成
34	11	田中 (潔) 委員	<p>安全なまちづくり（防災）の中で、自助・共助・公助と分類されて、特に、公助について詳細に運営方針として追加されたのはよいと思う。</p> <p>鶴見区においても、実際に大阪府北部地震、台風 21 号や台風 24 号で災害被害が起こり区役所内に対策本部を設置され、また、各校区に避難所開設運営されました。</p> <p>今後は、対策本部設置や避難所開設運営のあり方や不具合な点を検証して、より有効で実態に合ったものに改善していくことが大事だと思います。</p>
35	11	内野委員	<p>（3）11 ページ：地域と区役所、関係機関、学校等が連携した実践的な訓練等を行うについて</p> <p>大災害時は、地域の法人・事業者と行政との結びつき・連携、地域団体等との連携がいざというときに重要な要素となります。そのために、日頃から連携した訓練が必要と感じております。宗教法人は公益法人として定められ公益性の責任を担っています。鶴見区内の寺院等の活用・連携の企画推進は大きな意義があると思います。</p>
36	11	宮本委員	<p>【公助】に</p> <p>「災害時に備えた危機管理体制の整備・強化」とあるが、地域単位でも危機管理体制を整備しておく必要があるのではないかと先般の久々の大型台風来襲で感じました。</p>

			<p>【自助・共助】に 「各地区防災計画の策定」とありますが ・避難所開設運営訓練 ・被害発生時の地域の対応について 等危機管理体制の整備を含んだ計画の策定と理解すればいいのですか。</p>
37	11	岡出委員	<p>継続した避難所開設運営訓練等とされていますが、開設訓練をされていない地域もあり、継続したという表現でいいのでしょうか。</p>
38	12	山口委員	<p>防犯対策事業 「防犯パトロール中」パネル（つるりっふ柄）を自転車に付けてくれる区民を募集する。というのはどうでしょうか？</p>
39	12	吉江委員	<p>各世代の交通安全教室の実施、交通事故防止の1番は交通ルール、マナーを守る事でその指導を繰り返し行う事が大事、信号無視を無くすために初歩からの指導</p>
40	12	前川委員	<p>・自転車マナーについては高校生だけでなく一般の大人も対象とすべき</p>
41	12	田中 (潔) 委員	<p>安全なまちづくり（防犯・交通安全）の中で示された運営方針について、防犯カメラの設置や区内一斉防犯活動の実施等を継続されることはいいことだと思います。 近年の犯罪検挙率の向上や刑法犯認知件数の減少は、防犯カメラの普及によるところが大きいと思います。また、住民自身による日常の防犯活動は、地域の連帯を深め安全安心なまちづくりに大変役に立っていると思います。</p>
42	12	宮本委員	<p>・防犯カメラの設置や取替 ・抑止効果のある防犯プレートの設置 とありますが、防犯カメラは、今では犯罪の抑止・犯人の特定に大きな効果が実証されています。 防犯の観点より、地域全体をカバーするには、設置費用や維持費を考えると台数には限度があり、効果的な設置が必要で今後どの程度まで進めるのか。</p>

4 3	1 3	山口委員	<p>広報紙の充実の中の「区民ニーズの把握」に関して、具体的にどのような方法で把握する機会を設けているのか（例えば区民の声の利用など）を示しておく、区民側の「誰に、どこに言ったらいいのか？」の一つの解決に繋がるような気がします。大阪市生涯学習センターにあるような、誰でも（有料で）使える輪転機？が区内にあればいいのじゃないかと思います。全世帯・全事業所への配布に関して、地活協に業務委託する事を検討してはどうでしょうか？地活協の広報も全戸へ配布しやすくなると思うのですが…。</p> <p>※地活協が良しとした場合のみ。</p> <p>他区では実施しているところもあると市政改革 2.0 のパブコメの回答の中で見たような???</p> <p>補欠選挙の時に高校の生徒さんが区内放送をしたような事も、積極的に取り入れたり、役所の窓口対応の最後に「明日トワイライトコンサートしますよ」など顔をみてロコミするなどもできたらどうだろうと思ったりします。</p>
4 4	1 3	柴田委員	全世帯全事業への配布 どの程度の枚数
4 5	1 3	西村委員	<p>広報紙をよく読んでいる割合：60%</p> <p>ホームページ、SNS、etc 情報発信は高齢者には？</p>